

2013年度 森泰吉郎記念研究振興基金 研究助成金報告書
「研究者育成費 博士課程」

所属：政策・メディア研究科 後期博士過程 3年

氏名：姜宇哲

1. 研究題目

韓国の国際協力政策の再構築

2. 活動報告

本年度は、博士論文の執筆に取り組みながら、森泰吉郎記念研究振興基金の研究助成金の支援の下で、韓国の李明博政権（2008年～2012年）における「国際開発協力基本法」制定による「国際協力政策の再構築」に関する研究を行った。

上記の研究を進めるため、公刊資料や文献調査に加えて、韓国現地で資料収集（援助実施機関、国会、情報公開請求）とインタビュー（政府関係者、大学教授、NGO関係者）にインタビューを行い、「国際開発協力基本法」制定の政策過程におけるアクターに関する分析を行った。こうした研究内容を下記の学会誌に投稿し、採録が決定された。

3. 研究成果

- ・ 姜宇哲「韓国の国際協力政策の再構築—「国際開発協力基本法制定」を中心に—」
『KEIO SFC JOURNAL』Vol. 12 No. 2.（2014年3月発行予定）
- ・ 概要

韓国は2010年に開発援助委員会に加盟して正式な開発援助供与国として注目されるようになった。しかし、韓国の途上国支援は1960年代から始まり、実施機関の設立、予算拡大、体制整備などの変遷を辿ってきた。本研究は日本でも実現をみていない国際開発協力基本法制定の背景を分析した上で、韓国の国際協力政策において基本法制定がどのような意味を持つのかを明らかにした。具体的には国際協力政策を巡る内圧と外圧という歴史的経緯に注目して制定に至るまでの過程を分析した。基本法制定が援助政策を巡る国内の政策課題を改善すると同時に、国際的基準を満たしたことを示した。

4. 今後の課題

本年度は、今まで執筆してきたものに更なる加筆及び修正を加えることによって、博士論文の完成度を高める予定です。本研究を進めるため頂いた森泰吉郎記念研究振興基金の関係者の方々に感謝を申し上げます。